

地域再生計画（地方創生道整備推進交付金）事後評価調査書

都道府県名	鹿児島県	事業実施主体	鹿児島県、日置市	地域再生計画名	鹿児島県、日置市「交通ネットワークを有効活用した健全なまちづくり計画」
計画期間	平成27年度～令和元年度	評価責任者	鹿児島県環境林務部かごしま材振興課長、日置市産業建設部建設課長		

①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	指標		基準値		中間目標値			最終目標値		事後評価	達成状況	最終目標値の実現状況に関する評価
	指標1	指標2	基準年度	H25	年度	中間実績	基準年度	最終実績				
①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	指標1	総合運動公園施設の利用者数の増	900千人	H25	920千人	H29	950千人	945千人	R1	901千人	△	3 0 令和元年度7月豪雨及び新型コロナウイルスの影響により、最終年度の実績値が最終目標値を下回る結果となった。しかし、中間実績が最終目標値を上回っていることから、市道及び林道の整備により、市街地と山間部のアクセス改善が図られた。 令和元年度7月豪雨及び市場変動の影響により、最終年度の実績値が最終目標値を下回る結果となった。しかし、中間実績が最終目標値を上回っていることから、市道、林道及び農道の整備や物産館のイベント開催などの効果により、市内物産館施設を訪れる人が増えている。 令和元年度7月豪雨及び新型コロナウイルスの影響により、最終年度の実績値が最終目標値を下回る結果となった。しかし、中間実績が最終目標値を上回っており、林道整備の完成により、山間部の木材生産区域と木材加工施設等間のアクセス改善が図られ、木材輸出量の増加を目指した木材利用推進事業などの施策の効果により、今後の素材（木材）生産量の増加は十分に期待できるものとなっている。
	指標2	日置市内物産館出荷取扱額の増	1,753百万円	H25	1,780百万円	H29	1,818百万円	1,880百万円	R1	1,744百万円	△	
	指標3	素材（木材）生産量の向上	20千㎡	H25	20.5千㎡	H29	38.3千㎡	21千㎡	R1	19.4千㎡	△	
②地域再生計画に記載した数値目標以外の波及効果の実現状況	指標1	木材生産額の増	1.8億円	H25	1.9億円	H29	3.5億円	1.9億円	R1	1.8億円	-	令和元年度7月豪雨及び市場変動の影響により、最終年度においては目標値を下回る結果となったが、林道整備による効果として未開伐地域へのアクセス改善が図られ、中間年度では基準年度の約2倍まで増加したことから期間内の生産額においては一定の波及効果があったものと評価できる。
③事業の進捗状況	事業名		整備量（その他の事業では取組内容）									
			計画	中間年度(H29)	最終実績							
特別措置を適用して行う事業	市道整備事業（整備延長）		78.5km	21.0km	34.377km	観光バス等の周遊できる安心・安全な道路整備のため、一部路線を道路修繕から道路改良へ計画の見直しを行い、道路拡幅等の整備を進めた。一方で、令和元年度7月豪雨及び新型コロナウイルスの影響により、最終年度の実績値が最終目標値を下回る結果となったが、中間の実績値が最終年度目標値もしくは中間目標値を上回っている。このことから、これまでの整備により総合運動公園施設及び市内物産館の利用者の増加につながった。						
	林道整備事業（整備延長）		2.0km	1.0km	2.396km	概ね計画どおり林道整備が実施され、令和2年12月に全線の改良が完成した結果、森林地域と市場のアクセス向上及び林業関係者の利便性の向上が図られ、今後の当地域林業活動の活性化及び木材生産量の増加につながるものとなった。						
その他の事業	中山間地域総合整備事業		農業と都市住民との交流を促進するため生産基盤と生活環境基盤を整備			東市来・伊集院地域を区域とした中山間地域総合整備事業日置地区、日吉・吹上地域を区域とした中山間地域総合整備事業日置南部地区として、事業を展開しており、事業進捗としては約40%である。ほ場整備や農道整備等の生産基盤や集落道整備等の生活環境基盤の整備が進むことにより、物産館や直売所等への流通の拡充や集落内の安全且つ快適な生活空間の向上が図られている。						
	東市来都市計画事業		小型モビリティの導入や観光情報発信事業の実施			本市では、海岸部での観光客数は年間数百万人といち多中で、魅力的な地域資源を多く有する山間部においても観光客を増大させたいと取り組んできているが、未だ十分ではないので、引き続き山間部の観光・交流人口の増に向けて推進事業を進めていきたい。						
	日置市九州・全国大会等開催補助金制度（日置市単独事業）		駅前再開発と駐車スペース確保等のための事業を推進			トップセールスや幅広い周知活動により多くの大会が開催され、スポーツ交流人口の増加につながったと考えている。さらに団体等に向けた施設の充実やアクセスの良さをアピールして、開催大会の拡大と定着化を目指している。						
	日置市スポーツ合宿誘致助成制度（日置市単独事業）		日置市内体育施設を利用するため日置市内に宿泊する団体に宿泊費の一部を助成			交通至便の地の利を生かし、地域の魅力や各施設の情報を広く発信し、利用団体の増加につながったと考えている。一方、利用団体に市の物産館などを利用してもらう産業の活力など経済の相乗効果が期待される。						
計画外で独自に実施した事業												
④評価方法	数値目標（指標）の達成状況により評価するほか、関係者に対して計画の達成状況に関するヒアリングを行った。											
⑤事後評価の公表方法	鹿児島県、日置市のホームページに掲載											
⑥計画全体の総合評価	各数値目標において、令和元年度7月豪雨及び新型コロナウイルスの影響により、実績値が最終年度の目標値を下回る実績となった。しかし、総合運動公園施設の利用者数及び木材生産量の向上については中間目標値が最終目標値を上回る結果となり、日置市内物産館出荷取扱額については中間評価段階では目標値を達成しているため、事業効果の発現がみられたと考える。このことにより、本地域再生計画において、道整備交付金を活用した市道と林道の整備を一体的に実施し、地域間、総合運動公園施設、物産館周辺のアクセス向上と通行車両の安全確保や環境改善が図られたと考える。また、本計画の実施状況及び波及効果について関係者にヒアリングを行ったところ、利便性の向上や安全等の改善が図られた等の一定の評価を得られた一方、今後の更なる整備を要望する意見もあった。											
⑦今後の方針等	本地域再生計画においては、運動公園施設の利用者数、木材生産量の増加等も含め、目標とする「交通ネットワークを有効活用した健全なまちづくり」を実現したと考える。このため、引き続き、次期地域再生計画である「日置市らしさを感じる魅力と活力あふれるまちづくり計画」に取組み、事業を推進し、実現していきたい。											

地域再生計画実施林道位置図 舟川野下線

いちき串木野市

実施区間

起点

終点



路線概要

- 事業主体 鹿児島県
- 種類 自動車道第2種2級
- 延長 5,900m
- 幅員 4.0m

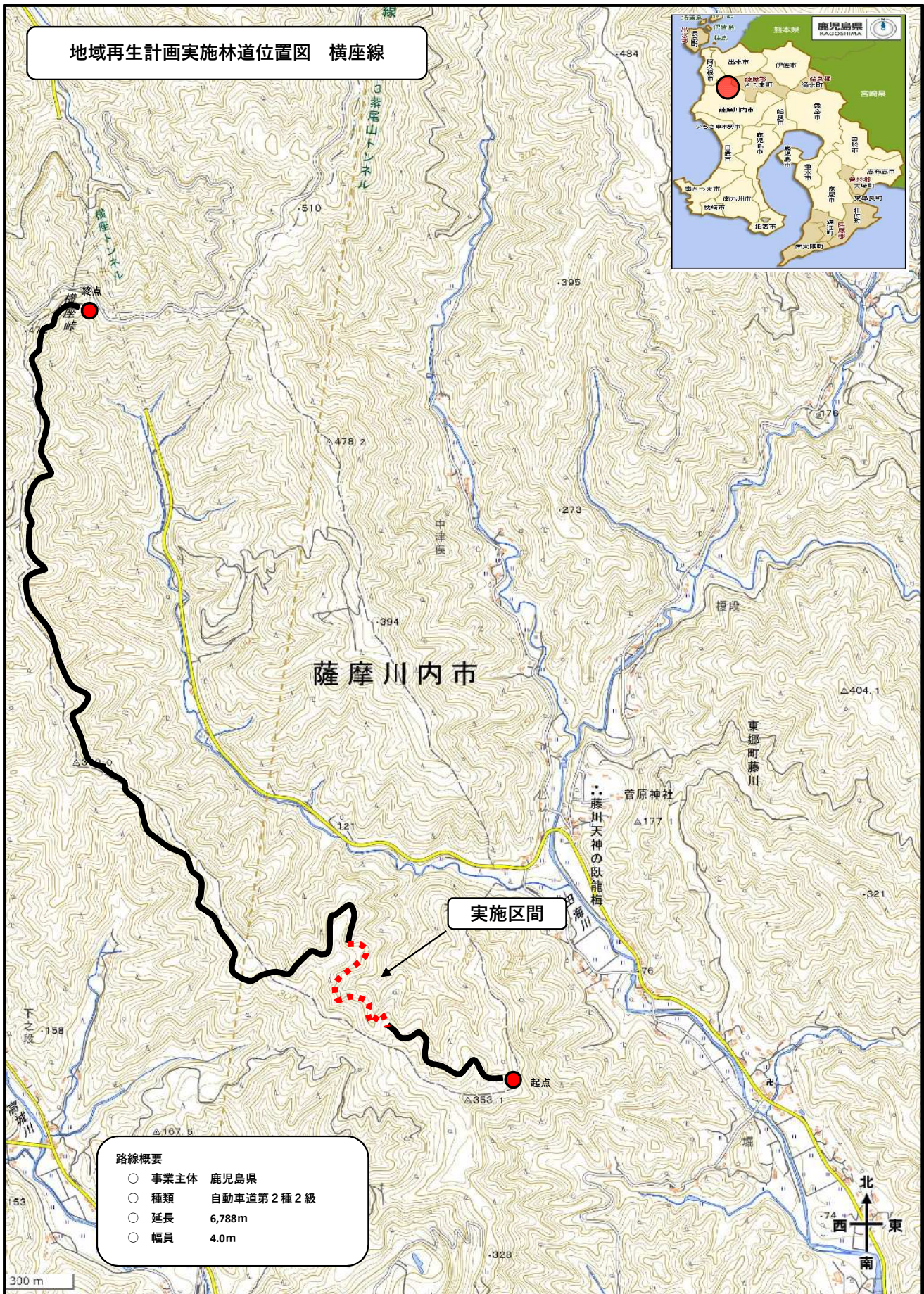


地域再生計画（地方創生道整備推進交付金）事後評価調書

都道府県名	鹿児島県	事業実施主体	鹿児島県、伊佐市、さつま町	地域再生計画名	地域の魅力的な資源を生かしたまちづくり計画
計画期間	平成27年度～令和2年度	評価責任者	鹿児島県農地保全課長、鹿児島県がごしま材振興課長、伊佐市林政課長、さつま町建設課長		

	指標		基準値		中間目標値		最終目標値		事後評価	達成状況		最終目標値の実現状況に関する評価		
			基準年度		年度	中間実績	基準年度	最終実績						
①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	指標 1	観光客入込者の向上	2,229人	H25	2,285人	H29	3,783人	2,340人	R2	3,229人	○	指標達成数 達成数	道路整備による観光施設へのアクセス向上により目標を大きく上回る形で達成できた。しかし、R2年度実績値は新型コロナウイルス蔓延の影響により得ることができなかったため、R1年度実績値である。	
	指標 2	素材（木材）生産量の向上	150千m3	H25	154千m3	H29	286千m3	158千m3	R2	277千m3	○	3	2	林道整備やそれに通じる町道整備、木材輸出量の増加を目指した木材利用推進事業などの実施により、素材（木材）生産量が増となった。
	指標 3	農道における保全対策の推進率	0%	H27	25%	H29	18.2%	100%	R2	81.8%	△			農道保全対策を実施したことにより、通行車両の安全性の確保、走行性の向上及び農産物の品質向上が図られたが、現状では目標を若干下回った。
②地域再生計画に記載した数値目標以外の波及効果の実現状況	指標 1	木材生産額の増	13.7億円	H27	14.1億円	H29	26.1億円	14.4億円	R2	25.3億円	-			林道整備により森林へのアクセス改善により森林施策が促進され木材生産額の増となった。
	指標 2													
③事業の進捗状況	事業名		整備量（その他の事業では取組内容）			事業の進捗状況に関する評価								
			計画	中間年度（H29）	最終実績									
特別措置を適用して行う事業	町道整備事業（整備延長）		5.8km	3.3km	3.4km	観光地へ經由する町道の整備により各観光施設へのアクセス向上につながったと考えている。計画路線のうち、一部の路線を政策上の都合により、他の事業にて前倒して整備した路線があり、実質的な整備延長は概ね変わらないが、計画上では計画整備路線延長から実績整備延長が減じしている。また、計画路線のうち施工時期などの地元調整や、施工方法の検討などにより整備が完了しなかった路線があるが、新たに策定した地域再生計画でも引き続き整備を進める予定であり、整備完了後に合わせて効果が発揮されるため継続して整備を進めていきたい。								
	林道整備事業（整備延長）		17.1km	8.1km	15.8km	林道整備により、森林へのアクセス改善が図られ素材生産量は増加したが、計画した路線の事業実施において地形、地質等をふまえた設計・施工結果により、最終実績整備量（整備延長）は計画を下回った。								
	農道整備事業（整備延長）		11箇所	2箇所	9箇所	路面補修及び橋梁補修等を実施したことにより、通行車両の安全性の確保や走行性の向上が図られたが、整備量としては目標を若干下回った。本広域農道は、営農団地を接続する農道として地元要望が強い路線であることから、引き続き農道保全対策を実施し、荷痛み解消による農産物の品質向上や農業交通及び一般交通車両の安全性の確保を図りたい。								
その他の事業	社会資本整備総合交付金事業（さつま町）		町道整備			魅力的な住みよいまちづくりを実現するため、町道の整備を引き続き実施していきたい。								
	防災・安全交付金事業（さつま町）		町道整備			地域における総合的な生活空間の保全確保を図るため、町道の整備を引き続き実施していきたい。								
	森林整備・林業木材産業関連事業（公共、非公共）		間伐材の生産促進対策を実施するとともに、路網整備や高性能林業機械等の基盤整備を推進			多様で健全な森林づくりと林業・木材産業の再生を図るため、林業関係の補助事業、交付金事業、基金事業を活用し、木材生産量の増大を目指すとともに、引き続き様々なプロジェクトを実施し、北薩・伊佐地域の林業再生に向けた取組を強化していきたい。								
計画外で独自に実施した事業														
④評価方法	数値指標（指標）の達成状況により評価するほか、関係者に対して計画の達成状況等に関するヒアリングを行った。													
⑤事後評価の公表方法	鹿児島県、伊佐市、さつま町のホームページに掲載													
⑥計画全体の総合評価	本地域再生計画では、町道整備、林道整備、農道整備が一体的に実施され、地域間のアクセス向上と通行車両の安全確保や環境改善が図られたことにより、観光入込者数や木材生産量については中間年度で目標値を大きく上回ることができ、その効果が発現されていると考えるが、昨今の新型コロナウイルス蔓延による観光面への打撃が大きく、観光入込者数の実績としては中間年度までの実績値しか得られず、最終的な数値面では評価しづらい状況である。また、豊富な森林資源を有する山間部においては林道整備により森林施策が実施され地域の木材生産量が増加している。以上のことから、本計画のテーマである「地域の魅力的な資源を生かしたまちづくり」のとおり、各種道路整備により観光や農産物・木材などの資源が有効活用され、現在打撃を受けている観光面も、中間年度実績値から新型コロナウイルス蔓延が終息に向かえばさらに向上すると想定されることから、概ね計画目標は達成されたと考える。													
⑦今後の方針等	本地域再生計画においては、円滑に整備が進んでおり、新たに策定した地域再生計画や別途事業にて本計画で整備が完了しなかった路線を引き続き整備することにより、新たな地域再生計画の目標達成も含めて、最終的には本計画も目標を達成することが見込まれる。また、本地域再生計画で得られた効果をさらに活用するために、県内外への観光PRや林業従事者の育成等のソフト対策も一層強化していきたいと考えている。													

地域再生計画実施林道位置図 横座線



- 路線概要
- 事業主体 鹿児島県
 - 種類 自動車道第2種2級
 - 延長 6,788m
 - 幅員 4.0m

300 m



地域再生計画実施林道位置図 運床線

実施区間

火之峰

鴉山

△264.0

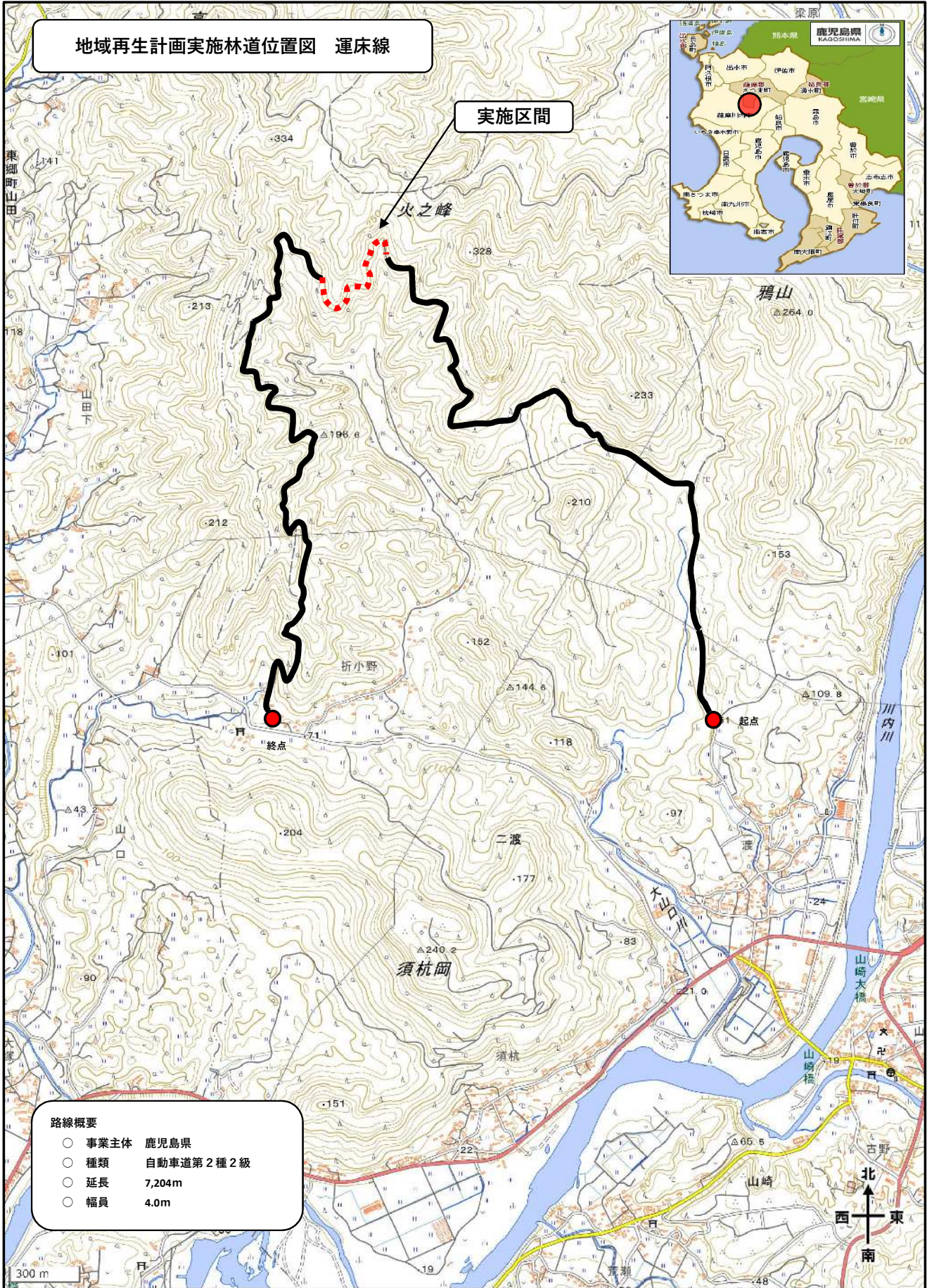
起点

終点

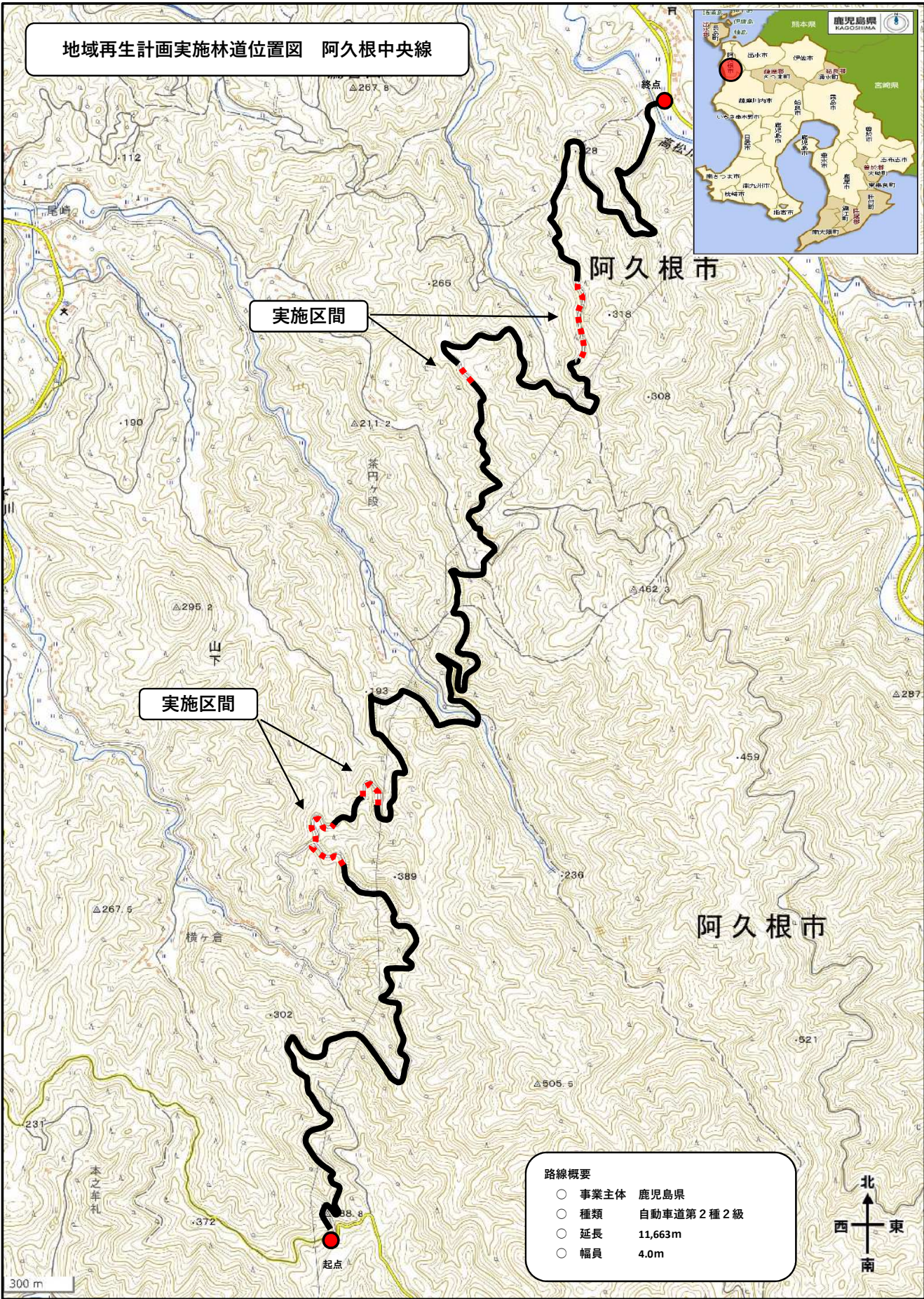
路線概要

- 事業主体 鹿児島県
- 種類 自動車道第2種2級
- 延長 7,204m
- 幅員 4.0m

300 m



地域再生計画実施林道位置図 阿久根中央線



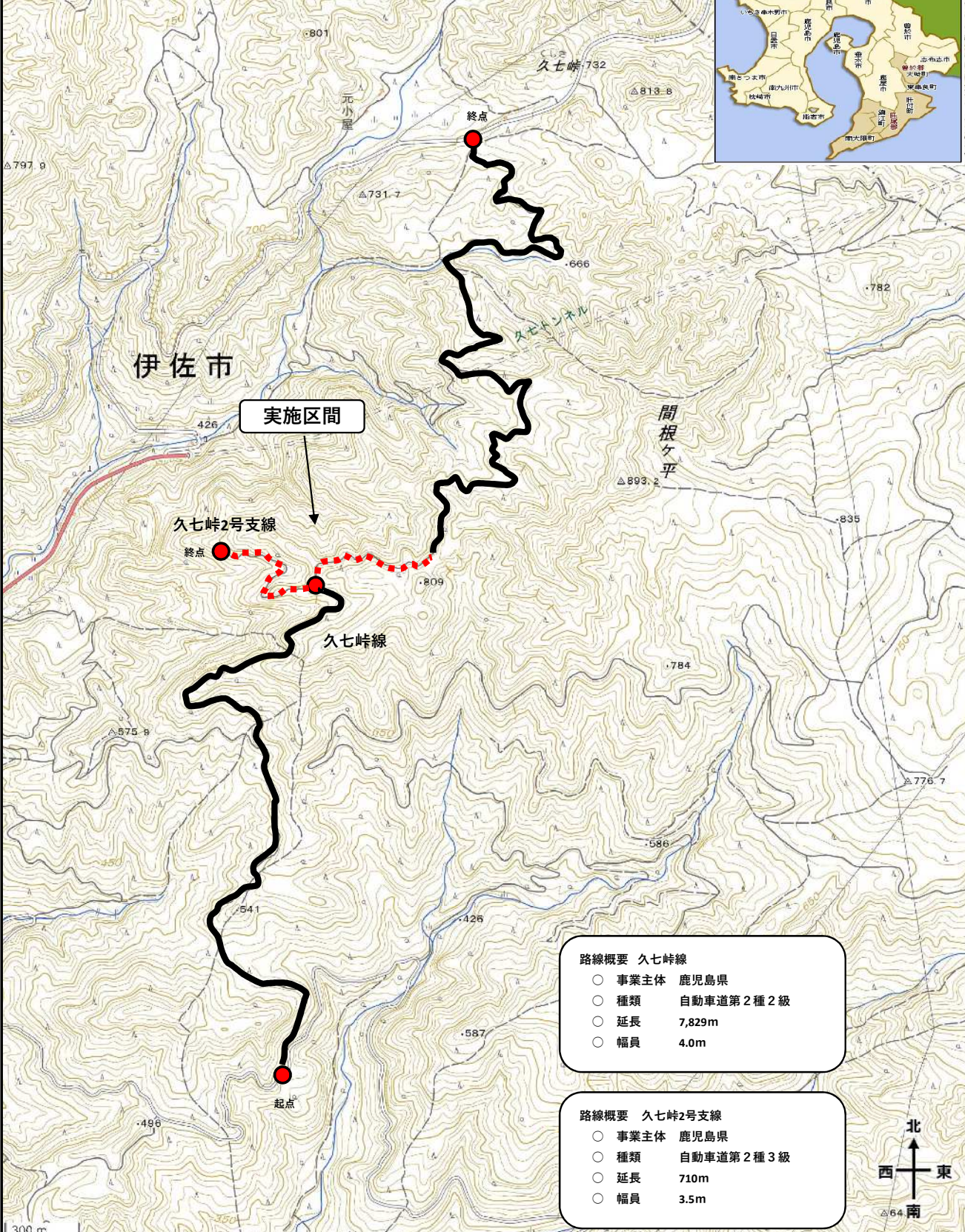
路線概要

○ 事業主体	鹿児島県
○ 種類	自動車道第2種2級
○ 延長	11,663m
○ 幅員	4.0m



300 m

地域再生計画実施林道位置図 久七峠線、久七峠2号支線



路線概要 久七峠線

- 事業主体 鹿児島県
- 種類 自動車道第2種2級
- 延長 7,829m
- 幅員 4.0m

路線概要 久七峠2号支線

- 事業主体 鹿児島県
- 種類 自動車道第2種3級
- 延長 710m
- 幅員 3.5m



地域再生計画実施林道位置図 山ノ神線

実施区間

終点

折小野

起点

鳥神岡

路線概要

- 事業主体 伊佐市
- 種類 自動車道第2種2級
- 延長 3,816m
- 幅員 4.0m

300 m



地域再生計画実施林道位置図 西ノ山線



地域再生計画（地方創生道整備推進交付金）事後評価調査

都道府県名	鹿児島県	事業実施主体	鹿児島県、志布志市	地域再生計画名	志布志「森－農－海」を結ぶ持続可能な産業振興計画
計画期間	平成28年度～令和3年度	評価責任者	鹿児島県農地保全課長、鹿児島県かごしま材振興課長、志布志市建設課長		

①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	指標	基準値		中間目標値			最終目標値		事後評価	達成状況		最終目標値の実現状況に関する評価		
		基準年度		年度	中間実績	基準年度	最終実績	指標総数		達成数				
①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	指標 1	農産物等輸送に係る営農経費節減	0千円	H26	16,200千円	H30	千円	27,066千円	R2	27,066千円	○	2	2	道路整備による観光施設へのアクセス向上により目標を大きく上回る形で達成できた。
	指標 2	素材（木材）生産量の向上	34千m3	H26	41千m3	H30	75千m3	50千m3	R3	89千m3	○	2	2	林道整備やそれに通じる市道整備、森林の有する多面的機能を発揮させることを目指した各種取り組みの効果により目標値を達成できた。
②地域再生計画に記載した数値目標以外の波及効果の実現状況	指標 1	市道保全対策の推進率	20%	H28	60%	R1	16.5%	100%	R2	100%	○	/		当初は進捗状況の遅れが見られたが、R2以降国土強靱化地域計画に基づく市道整備事業の推進（交通・物流）に位置づけ、市道保全対策の推進に大きく寄与した。
	指標 2	農道保全対策の推進率	32%	H29	65%	H30	100%	100%	R1	100%	○			農道保全対策において、コスト削減等を図ったことで、目標年度より早期に目標達成ができた。
	指標 3	素材（木材）生産量の増加	34千m3	H26	41千m3	H30	75千m3	50千m3	R3	89千m3	○			林道整備による効果として森林へのアクセス改善が図られた結果、素材生産量の増となった。
③事業の進捗状況	事業名		整備量（その他の事業では取組内容）			事業の進捗状況に関する評価								
特別措置を適用して行う事業			計画	中間年度（H29）	最終実績									
	市道整備事業（整備延長）		9,000m	1,493m	9,000m	当初計画に対し、路線延長から見る進捗率は、約16.5%と進捗が伸び悩んだ。当事業路線以外のアクセス関連事業に集中投資したためであるが、R2以降、国土強靱化地域計画に基づく市道整備事業の推進（交通・物流）に位置づけ、周辺幹線道路供用（R2年度供用）と併せて、目標を達成できた。								
	林道整備事業（整備延長）		5.8km	3.5km	6.0km	林道整備により森林へのアクセス改善が図られ素材生産量は増加した。今後も森林施業や木材等の輸送を効率的に実施していくため引き続き事業実施を行ってきたい。								
農道整備事業（整備地区）		1.0km	1.0km	1.0km	農道整備において、コスト削減等に取り組んだことで早期の目標達成に繋がりが、農産物の輸送や一般通行車両の安全対策が図られた。									
その他の事業	社会資本整備総合交付金事業（志布志市）		市道整備			農林水産業の振興や観光拠点を活用した地域振興を支援し、魅力と活力あふれる地域・経済社会を構築するため、地域情勢に対応した交通網の市道整備を実施していきたい。								
	地方道事業費補助（港湾アクセス補助事業）（志布志市）		市道整備			国際バルク戦略港湾である志布志港へのアクセス向上による物流ネットワークの強化を図るための市道整備を行いたい。								
	森林整備・林業木材産業関連事業（公共、非公共）		間伐材の生産促進対策を実施するとともに、路網整備や高性能林業機械等の基盤整備を推進			林業関係の補助事業、交付金、非公共の林業成長産業化地域創設モデル事業等を活用し、生産基盤の整備を図ることにより、大隅地域林業の成長産業化に向けた取組が着実に実行され、素材（木材）生産量の増大が図られつつある。								
計画外で独自に実施した事業	単独土地改良事業		農業用施設（農道や排水路など）の改修を行い農業集落環境改善を図る事業			農業用施設（農道、排水路など）の改修を行い、これらの長寿命化を図り、維持管理に関する経費削減が図れ、継続した営農の推進に寄与できた。								
	集落道等整備事業		市道、林道、農道に該当しない集落道における生活環境の改善に資する事業			本市では市道、林道、農道に該当しない集落道を集落の申請により、道路の拡幅工事や舗装工事、排水路の工事を実施している。年次的な解消により地域からの要望は年々減少傾向にある。								
	未来につなぐ森づくり推進事業		適切な森林整備を通じた森林資源の循環利用を図るために、間伐・再造林・下刈りを行う事業			間伐・再造林・下刈り経費の負担軽減が図られ、森林所有者の経営意欲を喚起し、効率的、効果的な森林整備の実施が図られた。								
	特用林産物（枝物）販売拡大支援事業		特用林産物の増産及び安定した出荷を確立し、山づくりへの取組を促進させる事業			市場の需要に、安定した出荷が可能となり、品質や生産量の高水準が図られた。								
	志布志市林業振興対策協議会		林業行政の円滑な推進を図るための協議会			年1回の協議会を開催し、林業振興計画の作成に関する事項の協議を行い、林業行政の円滑な推進が図られた。								
④評価方法	地方創生評価委員会を開催し、最終目標値の実現状況に関する評価・検討等を行った。													
⑤事後評価の公表方法	鹿児島県、志布志市のホームページに掲載													
⑥計画全体の総合評価	本地域再生計画では、道整備交付金を活用した市道、広域農道の保全（老朽化対策）と林道の新規開設、舗装事業を一体的に整備することにより、既存の幹線道路（国道・県道・高規格道路）との連携による流通ネットワークの整備・充実を図ることができた。また、豊富な農畜産物や水産物、林産物といった当該地域の特産物（恵み）を生み出す特性を活かし、基幹産業である農林水産業を始めとした地域の産業が持続的に振興されている。本計画のテーマである「志布志「森－農－海」を結ぶ持続可能な産業振興計画」のとおり、各種道路整備により観光や農産物・木材などの資源が有効活用されつつあり、計画目標どおり進めることができた。													
⑦今後の方針等	本地域再生計画においては、概ね円滑に整備が進んでおり、引き続き事業の推進を図れば森－農－海を結ぶ持続可能な産業振興を達成できる。今後も更なる農産物等輸送に係る営農経費節減や木材生産量の向上を図るために、観光情報発信の強化等観光推進事業、地域の特産物のPR、林業従事者の育成等ソフト対策も一層強化していきたい。													

地域再生計画実施林道位置図 御在所岳線



実施区間

実施区間

終点

起点

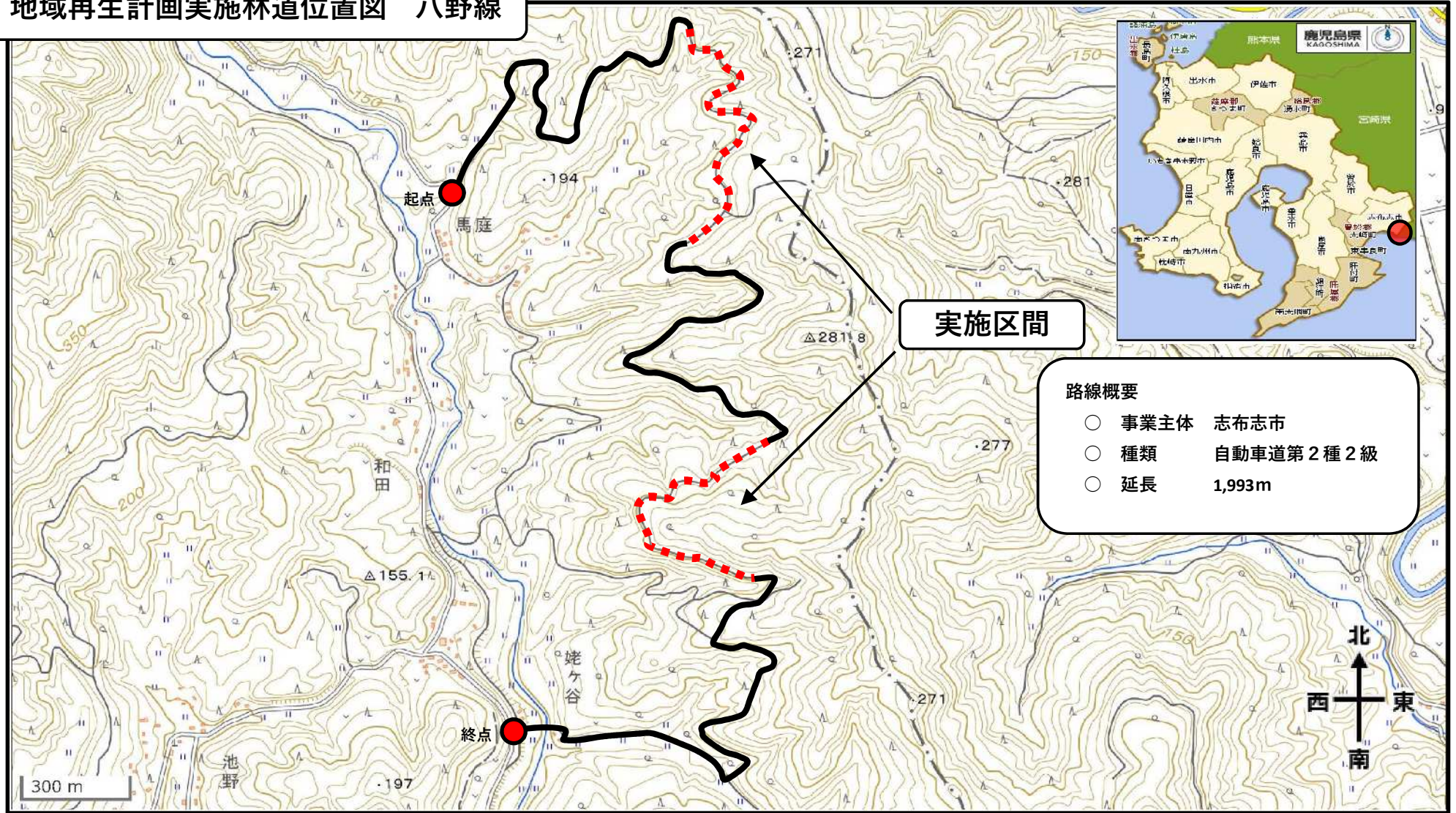
路線概要

- 事業主体 鹿児島県
- 種類 自動車道第2種2級
- 延長 7,200m



500 m

地域再生計画実施林道位置図 八野線



実施区間

路線概要

- 事業主体 志布志市
- 種類 自動車道第2種2級
- 延長 1,993m